

築城基地拡張は撤回を 日本共産党福岡県委員会らが申し入れ



党申し入れ
で明らかに

誘導路300メートル延長 航空燃料タンク2基増設

米軍再編による日米共同訓練が実施されている福岡・航空自衛隊築城基地(築上町)の「拡張計画」が明らかに。11月29日、日本共産党福岡県委員会、同地方議員団は「計画撤回」を申し入れました。

この申し入れには、田村貴昭党九州・沖縄ブロック国政対策委員長、しのだ清党県副委員長、小林とき子党県青年・平和運動部長、真島省二県議、徳永克子・大川義彦・林利門行橋市議、西畑イツミ築上町議らが参加しました。

申し入れで、基地に隣接する農地約4ヘクタールを取得し、平行誘導路(現行1500メートル)を300メートル延長させることや、現在7基ある航空燃料タンクを2基増設することがわかりました。

参加者の「今回の拡張計画は、米軍再編と一体のもの」との指摘に、基地側は、拡張は「自衛隊の必要であり米軍再編とは無関係」と繰り返し申し入れました。以下、申し入れ全文です。

自衛隊築城基地拡張計画の撤回の申し入れ

貴基地が所属する防衛省は自衛隊築城基地について、11月23日、九州防衛局を通じて突然、その拡張について住民への説明会を開催しました。

貴基地は、今日まで、地元住民や地元議会の強い反対の意向を無視して、在日米軍の再編にともなう米軍機の移転訓練を実施してきましたが、これに加えて、今回、さらに基地そのものの拡張計画を発表するなどは到底、許しがたいものです。

防衛省は、今回の基地拡張計画を昨年の早い時期から準備しながら、地元自治体にも、議会にも、また住民にもまったく隠したまますすめてきました。

私たちが、11月15日に防衛省でレクを受けた際には、「施設の改造が必要」との言明はありましたが、具体的な拡張計画については一切の説明もありませんでした。防衛省のこのような対応は、明らかに地元無視、住民無視の措置であり、厳しく抗議するとともに、今回の拡張計画をただちに撤回するよう申し入れるものです。

私たちは、繰り返し強調してきました

が、現在すすめている自衛隊基地を利用した在日米軍の再編と移転訓練は、アメリカがすすめる戦争に日本を参戦させるものであり、明らかに憲法違反の行動です。

また、増大する戦闘機の騒音や、全国でひろがる米兵による犯罪や事件等への不安にも何の対策も講じられておらず、今回の拡張が住民不安をいっそう拡大するものとなっております。

世界の流れは、戦争によっては紛争の防
止も、テロの根絶も不可能であることも明白です。

イラク戦争をすすめるブッシュ政権の支持率が大きく落ち込み、アメリカと一体となつてタリバンへの攻撃を繰り返してきたアフガン政府も、タリバン勢力との交渉を開始しています。インド洋に派遣されていた海上自衛隊の帰還も、日本国民に大きく歓迎されています。

憲法をまもるためにも、また、世界の平和の流れを大きくするためにも、貴基地が推進する米軍移転訓練やそのための緊急時使用等を事実上ささえるものとなる自衛隊基地の拡張計画をただちに撤回するよう重ねて要望するものです。

誠意ある対応を求めます。